

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

新宿通り－1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」と歩いてきました。

今回は「新宿通り」を歩きます。新宿通りは内堀通りの半蔵門交差点を起点に、新宿区歌舞伎町の新宿大ガード東に至る延長約4kmの道です。起点の半蔵門交差点から四谷見附交差点までは写真上右の「麹町大通り」の通称で表示されています。四谷見附交差点からは「新宿通り」の表示です。

今回は起点から四谷三丁目交差点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時の写真もあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[半蔵門] 千代田区麹町一丁目 最寄駅 東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅

説明板によると「半蔵門」（写真下左）は江戸城内郭門の一つで、「こうじまち口」とも呼ばれ、四谷門とともに甲州街道への要衝となっていました。名前の由来は、伊賀者の服部半蔵がこのあたりに配下とともに屋敷を拝領していたとの説があります。他にこの門から城内に入る山王祭礼の象の山車が枡形門をくぐることができず、半分だけしか入らなかったという説もあります。門は1620年（元和6年）仙台藩（現在の宮城県）藩主 伊達政宗ほか6名の東国大名により築造されました。

江戸時代には、半蔵門から入り北に進み、現在の代官町通りを通過して、竹橋門（現在の竹橋駅付近）に抜けることができました。1871年（明治4年）渡櫓門は撤廃され、現在は高麗門だけが残り、皇室の皇居への通用門として使用されています」と記載。写真下右は説明板に掲載の1871年（明治4年）撮影の半蔵門です。



[半蔵門交差点] 千代田区麴町一丁目

最寄駅 東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅



半蔵門交差点（写真左）は内堀通りにあり、右の靖国神社方面から来て、内堀通りは左の三宅坂・桜田門方面に向かいます。新宿通り（麴町大通り・国道20号線）はここが起点で、写真前方の四谷方面へ向かいます。

[麴町四丁目交差点] 千代田区麴町四丁目

最寄駅 東京メトロ有楽町線 麴町駅



「麴町」の名の由来は諸説あり、町内に「小路」が多かったためとも、米や麦、大豆などの穀物を発酵させた「麴」をつくる家があったためとか、また武蔵国府（現在の府中市）へと向かう「国府路」があったからとも

いわれます。近所での地下に数か所の麴室も見つかっています。通り沿いに町屋が作られたのは徳川家康の入府後のことです。道の北側は寺や火除地、南側は谷地で四谷堀を掘った時に出た土で埋め立てて旗本が多く集まる武家屋敷になりました。一方、江戸の高級商店が店を構えた町の一つでもありました。また、赤穂浪士が吉良邸に討ち入り前に名を変えて隠れ住んだ家もあったと伝えられています。町には井戸がたくさんあり、関東大震災のときは断水した多くの家庭を救いました。その後も商店街として発展、現在はビルが立ち並ぶビジネス街に変わっています。左側には参議院宿舎がありました。

〔上智大学〕 千代田区麴町六丁目

最寄駅 JR中央線 四ツ谷駅

麴町六丁目交差点の左側からは「上智大学四谷キャンパス」（写真下左）です。「叡智が世界をつなぐ」を理念に1913年（大正2年）開校でその源流は1549年（天文18年）来日したフランシスコ・ザビエルの志に遡ります。

寅さん歩 208 東京の学食めぐりー14 をご覧ください。

写真下は四ツ谷駅から上智大学正門に向かう道で紀尾井町のニューオオタニ方面へ行きます。右の土手は桜並木で、下は江戸城外濠を埋めて上智大学のグラウンドになっています。



〔四谷駅前交差点〕 千代田区麴町六丁目

最寄駅 JR総武線 四ツ谷駅

右手に四ツ谷駅麴町口を見ながら四ツ谷駅交差点（写真下左）を進みます。

右の駅前からは外濠沿いの土手は「外堀公園」になっており、桜の名所です。
写真下右は振り返って上智大学を見ました。すぐ先から新宿区に入ります。



[四谷見附交差点] 新宿区四谷一丁目 最寄駅 JR中央線 四ツ谷駅

四谷見附交差点（写真下左）で外堀通り（都道405号線）と交差します。
左へ行くと迎賓館・赤坂見附方面、右へ行くと市ヶ谷方面です。
麹町大通りの名称表示は新宿通りに変わります（写真下右）。



[津之守坂入口] 新宿区四谷二丁目

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅

左側信号（写真下左）に「津之守坂入口」の表示がありました。右は津の守坂通りで荒木町の「新宿歴史博物館」、左は「円通寺坂」（写真下右）で須賀町の「須賀神社」に行きます。「津の守坂」とは坂の西側に美濃高須藩主 松平摂津守の上屋敷があり、その名を略した「津の守」が坂名の由来です。円通寺坂は坂下にある円通寺が坂名の由来。同名の坂は港区赤坂にもあります。

須賀神社は寅さん歩 325、新宿歴史博物館は寅さん歩 326 東京の博物館めぐり
ー13 新宿区ー2 をご覧ください。



[四谷三丁目交差点] 新宿区四谷三丁目

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅



四谷三丁目交差点（写真左）で外苑東通り（都道 319 号線）と交差します。左へ行くと信濃町方面、右へ行くと早稲田鶴巻町方面です。

交差点右角は四谷消防署・消防博物館があります。寅さん歩 326 東京の博物館めぐりー13 新宿区ー2 をご覧ください。

今回はここまでとします。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。

全行程約 600 里（約 2400 km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川（現在の江東区深川）を出発、2022 年 12 月 24 日酒田の手前 20 km 地点（江戸深川から 1172 km）に到着しました。

芭蕉一行は出羽路の旅を終え、北陸路に向かうため象潟から酒田へ向かっています。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝